

市民説明会 概要

日 時：2016年10月23日（日）13:30～15:20

場 所：シック5階 いきいき KAN 多目的ホール

参加者：30名程度

内 容：

1. 開会
2. 企画管理部長挨拶
3. 第2次富山市総合計画（案）について
 ○資料「第2次富山市総合計画（案）の概要」に基づき事務局より説明。
4. 質疑応答
5. 閉会

質疑応答の概要については以下のとおり

意見	回答
城址公園にある既存の平和の像を市民に見える場所に移動してほしい。また、犠牲者の刻銘碑と空襲に関する資料を管理・公開する記念館を建設すべき。	城址公園にある戦災復興記念像は中心市街地の公園にあり、市民が集いやすい場所にあることから移動は考えていない。また、刻銘碑や記念館の建設についても考えていないが、毎年8月1日に「富山市民感謝と誓いのつどい」において、空襲に関する写真やパネル展示等を行っている。市としては、史実を後世に伝えるものとして、この事業を継続していくことが大切であると考えている。
わがまちだけが良くなるという考えではなく、観光面、産業面、人口減少の問題でも、周辺の市町村と連携することが重要である。	総合計画において、県や近隣自治体との連携推進について記載している。具体的には、観光面では、飛騨市や松本市等と連携し、防災面では、岐阜市等と連携している。また、孫とおでかけ支援事業は、これまで富山市が単独で実施していたが、近隣の市町村も加わり、地域住民の方が相互に利用できるようになった。さらに、廃棄物処理についても、富山広域圏において、構成市町村と連携して取り組んでいる。
神岡鉱山の廃棄物等の堆積場所について、大地震等による災害により、土砂崩れが発生し、富山市への影響が甚大なものになると考えるが、国、県、企業等の連携が必要ではないか。	常願寺川については、立山砂防事務所、神通川については、神通水系砂防事務所といったように、国が直轄で対応している。本市としても、日頃から国、県などと様々な協議をしながら、大きな災害にならないように密に連携しているところであり、今後も引き続き進めていきたいと考えている。
エゴマなど新たに事業を実施する、大沢野地域の塩地内における耕作放棄地について、カドミウムによる土壌汚染の危険性はないか。	塩地内については、県の調査時にはカドミウムは検出されなかったと聞いている。また、下流ではカドミウムが検出されたが、現在復元工事が終わっている。